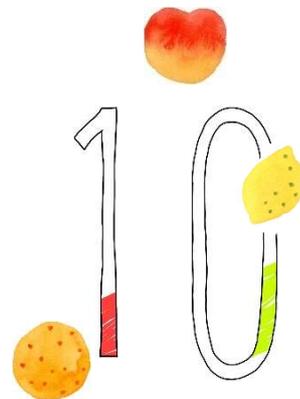


# おひさまだより



2024年10月号 社会福祉法人  
尚徳福社会  
生麦保育園 園長 田淵弘子

少しずつ秋の気配を感じられるようになりました。子どもたちは散歩に行ったり、園庭で身体を思い切り動かしたり、遊ぶ楽しさを味わうことでしょう。10月は秋の行事が目白押しです。幼児クラスはバス遠足、乳児クラスは親子で遊ぼう会を計画しています。世情でもニュースになりましたが、バス遠足は運転手不足、労働時間の問題でなかなか予約が取れず、今年は火曜日が遠足になりました。今までは金曜日だったので翌日の土曜日で遠足の疲れも解消されましたが、今回は翌日も保育園があります。子どもの体調によっては無理をしないようにしましょう。

## 10月の行事

3日（木）英語であそぼう

8日（火）幼児バス遠足（3才うさぎ組・4才きりん組・5才ぞう組）

9日（水）おはなし会

19日（土）乳児親子で遊ぼう会（1才あひる組・2才りす組）

22日（火）避難訓練・起震車体験

24日（木）英語であそぼう・1～2歳児交流保育

28日（月）乳児誕生会

29日（火）幼児誕生会

### 【個人面談について】

10月より個人面談を予定しています。短い時間ですが、懇談会とは違った個人の成長を保護者の方と共有する、有意義な機会になるように心がけたいと思います。保護者の方も気になることや心配なことなどありましたら、ご遠慮なくお話しください。りす組から順に始まります。詳細は追ってお手紙を配布します。どうぞよろしく  
お願いいたします。

### 【感染症について】

8,9月とりんご病が大流行！頬が赤くなった時にはもう感染力がないとのこと。なかなか見分けることができないりんご病でした。風邪に似た症状が発症のようです。これから手足口病も心配になる季節です。お子さんの体調には気を配るよう心掛けてください。

### あひる組



泣いている子の顔をのぞきこんだり、頭をなでたり、春に比べてびっくりするほど成長がみられます。午前遊びの後は、おなかかがペコペコ。自分から手を洗って席につき、目の前に給食が並ぶと嬉しそうに食べています。味覚も発達し好き嫌いも出てきますが食べる量も増え、空っぽのお皿も多くなりました。

### りす組



お友だちの名前も覚え、〇〇ちゃんと呼ぶようになりました。姿が見えないと保育者に名前を尋ねることも。子ども同士の関わりも多くなり、好きな遊びを楽しみ夢中になる姿を見ると、クラスが安心できる自分の場所になっているのだろうなあと嬉しく思います。

### うさぎ組



『きょうのえほんはなに?』『なんのかみしばい?』とお昼寝前の読み聞かせを、とても楽しみにしているようです。ワクワクしたり、大笑いしたり不思議に思ったり。。。みんなで楽しい時間を共有しています。おはなし会も始まり素話やペープサートなど日ごろの絵本や紙芝居と違う面白さにも気づいているようです。長い素話は飽きてしまう子も多いますが、話を聞き自分の中でイメージしたり想像する時間をとても大切にしています。

### きりん組



先日、『これからせんたくするよ』と子どもたちから報告を受けました。『何を洗濯するの?』と聞くと、『なんでもせんたくしちゃう』とのこと。絵本で【せんたくかあちゃん】を読んだので、それを真似しているようでした。自分の帽子、部屋のぬいぐるみなどたくさん洗濯していました。せんたくかあちゃんが言ったように『せんたくものを ほしたあとは ラムネのんだみたいに すっきりするねえ』と子どもたちの表情もすっきりしていました。後で『かみなりさまは落ちてこなかった?』と聞くと声を揃えて『おちてこなかったよ〜』とここだけ絵本とは違っていました(笑)

### ぞう組



『ながいはりがらになったら・・・』と時間を少しずつ意識しながら行動できるように声をかけています。自立への一歩とみられる場面もこの半年で大きな成長を感じます。その反面、言葉で自分の気持ちを伝えられるようになりましたが、相手に伝わらないと大きな声になったり、泣いたりする姿も見られます。年長組とはいえ、まだまだ保育士の援助が必要な場面も多くありますが、たくさんの経験と相手の気持ちに気付ける時間を大切にしたいです。

### 【運動会】

幼児クラスの運動会が終わりました。担任は日々の遊びや生活から種目を考えたり、子どもたちと相談して競技内容を膨らませたり各クラス工夫をして、子どもたち一人一人の成長を感じることができました。狭くても立ち見でもいいので、見学者を増やしていただけないかとの要望に応えるため、今まで各ご家庭2名までの観覧でしたが、今年は立ち見とはいえ4名まで増やしました。いろいろご意見をいただいた中での開催でしたが、子どもたちが楽しく元気に運動会に参加し友だちと一緒に競技をすることで満足感や達成感を共有し、自信に繋がる一歩になってくれたと思います。希望に添うことはなかなか難しかったのですが、保護者の皆さまにはご協力をいただき感謝申し上げます。